

令和6年度 第2回 天然記念物「高宕山のサル生息地」の
サルによる被害防止管理委員会 会議録

1 会議の名称	令和6年度 第2回 天然記念物「高宕山のサル生息地」の サルによる被害防止管理委員会
2 開催日時	令和7年3月27日（木） 14時00分～15時00分
3 開催場所	富津市役所 4階 401会議室
4 審議等事項	(1) 令和6年度事業の経過報告及び予算執行状況について (2) 令和7年度事業計画（案）及び予算（案）について
5 出席者名	委 員 中山正之、荒井淳一、岡根 茂、平島敏一、嶋野利郎 池田文隆、清田義昭 事務局 (調査団) 直井洋司、白鳥大祐 (富津市) 中山淳子、篠田優子、牧野啓介、金木佑天 (君津市) 當眞紀子、朝倉 唯
6 公開又は非公開の別	☒ 公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	
8 傍聴人の人数	0人（定員 5人）
9 所管課	教育部 生涯学習課 文化係 電話 0439-80-1342
10 会議録（発言の内容）	別紙のとおり

発言者	発言内容
(富津市)篠田 生涯学習課長	本日は、何かとお忙しい中、本会議にご出席を賜り誠にありがとうございます。 本日の進行を務めさせていただきます、富津市生涯学習課長の篠田でございます。よろしくお願いいたします。 会議に先立ち、資料の確認をさせていただきます。
(富津市) 金木主任主事	お配りしました資料の確認をいたします。 1 会議次第 2 委員名簿 3 席次表 4 委員会設置要綱 5 令和6年度の進捗状況 (天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業報告書(途中経過)) 6 令和6年度予算執行状況 7 令和7年度事業計画書(案) 8 令和7年度事業予算(案) 以上の8点です。
(富津市) 篠田課長	それでは、令和6年度第2回天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理委員会会議を始めさせていただきます。 出欠席の報告をさせていただきます。 本日の会議は、出席者7名、欠席者6名です。 よって、過半数の委員の出席を得ており、本委員会設置要綱第7条第2項により成立しておりますことをご報告申し上げます。 本日の会議は、富津市情報公開条例第23条第1項により公開となります。会議終了後、会議録を作成し、富津市および君津市のホームページにて公開いたします。なお、本日の傍聴人はおりません。会議録作成のために録音をさせていただきますので、ご了承願います。 富津市副市長に中山正之が就任いたしました。本委員会設置要綱第5条の規定に「委員長は富津市副市長の職にある者を充てる。」とあります

	ので、委員長に就任していただきました。 続いて、委員長であります中山富津市副市長からご挨拶申し上げます。 (委員長挨拶) ありがとうございます。 ここからは、本委員会設置要綱第7条第3項の規定により、議長を中山委員長にお願いいたします。
中山委員長	
(富津市) 篠田課長	
中山委員長	議長を務めさせていただきます。皆様方には、スムーズな議事の進行にご協力をお願いいたします。 議題に入る前に会議録署名委員2名を決めたいのですが、慣例により私から指名してよろしいでしょうか。
委員一同	異議なし。 ありがとうございます。 ご異議もないようですので、嶋野委員、池田委員にお願いいたします。 それでは、議題に入らせていただきます。議題(1)令和6年度事業の経過報告及び予算執行状況について、事務局の説明を求めます。
(君津市) 當眞文化振興 担当主幹	令和6年度事業の経過報告について、令和7年2月28日現在の状況を報告します。 1 被害防止 (1) 電気柵 ①維持管理 本事業対象の既設電気柵の点検・補修を行いました。報告書に本事業対象電気柵の一覧がございます。また、電気柵の点検結果を掲載しております。 ②改修 富津市宇藤原地区のU23を約150m、君津市怒田沢地区のK8及びK23で約90mの改修を実施しました。 令和6年度当初は、富津市・君津市合わせて約450mの改修を予定し

	ておりましたが、電気柵の材料費等の高騰により予定どおりの距離での実施が難しくなりました。事務局と調査団で協議し、予算の範囲で可能な約 240mの実施となっております。 (2) 被害多発期の追い払い 8月14日の一日及び8月20日のうちの半日分、計1.5日分の追い払いを行いました。近年では、特定の期間や特定の地域に限定した形での追い払いでは群れに遭遇することが困難であり、今年度は、調査団が巡回した際に群れに遭遇した場合に追い払いを実施、また、地元住民にロケット花火の配付などを行い、補っての実施としております。 (3) 被害実態調査 3月中の実施を予定しております。 2 生態調査と個体数管理 (1) 電波発信器装着のための捕獲 電波発信器を装着するために箱ワナを8台設置しました。設置場所は、富津市側は、宇藤原2台、小倉2台。君津市側は、西日笠1台、怒田沢1台、旅名2台です。 令和6年度は、2月末時点で合計8頭の捕獲がありました。捕獲個体には麻酔をし、外部計測、形態による交雑判定、血液サンプル採取を実施しています。 捕獲個体のうち発信器装着個体は、2月4日に富津市小倉で捕獲されたアン1頭です。GPS対応の発信器を装着しております。 形態による交雑判定では、3頭が交雑と判定され安楽殺処分となりました。判定は、相対尾長による基準と体毛色の違いによって行っています。残りの1頭は放獣しております。 (2) 生態調査 令和6年度の追跡対象は、田倉群・小倉A群・西日笠A群・旅名A群の4群でした。 田倉群は、発信器の電池寿命により装着個体ウタの発信器が脱落しましたので、4～5月の追跡となっております。 小倉A群は、11月にラグが死亡した状態で発見されました。しかしながら、2月4日に同群のアンに電波発信器を装着しており、年間を通し
--	--

	での追跡を実施しております。 西日笠A群は、7月にヌタヨが有害鳥獣駆除により死亡したため4～7月の追跡となっております。 旅名A群は、ヒナに電波発信器を装着して年間を通して追跡しております。 2月末時点で追跡可能な群れは、小倉A群、旅名A群の2群。指定地域周辺での電波発信器装着個体は、3頭となっております。 各群れの遊動域について、全体的には各群れの遊動域にあまり大きな変化はありません。いずれも遊動域に指定地域や要協議範囲を含んでいる状態です。 田倉群、小倉A群、旅名A群は、群れと遭遇した際の確認状況で交雑が疑われる個体が確認されております。 今年度の捕獲頭数は8頭でしたが、電波発信器装着に適したオトナメスの捕獲頭数が少なく、本事業で追跡可能な個体が少ない状況になっております。捕獲が難しい状態でございますが、追跡可能な群数の増加を進めてまいります。 (3) 個体数管理 富津市農林水産課鳥獣対策室、君津市農政課より有害鳥獣駆除の資料を提供していただき取りまとめ、次回会議で報告いたします。 3 天然記念物指定地域の環境改変と生息環境調査 (1) 環境改変 平成4年度に設定した、君津市側の高宕山県有林の広葉樹林造成試験地と平成9年度に富津市側の開発跡地に植栽したヤマザクラの成長量、森林階層調査を実施しております。 ①天然更新試験地の樹木成長状況 11月に調査を実施しました。調査対象に1本の樹木を追加。枯損により調査対象除外となった樹木が10本となっております。 ②ヤマザクラ植栽地の成長状況 11月に調査を実施しました。枯損により調査対象外となったものが1本、枯損が進んでいるものが1本あり、次回対象外となる可能性がございます。
--	---

(富津市) 牧野文化係長	(2) 生息環境調査 富津市宇藤原の峰上ステーションで気温と降水量を測定しています。 4月1日から7月13日まで、自動観測機器の不具合でデータが採れておりませんでした。7月14日以降に回復したため、2月末までにデータを記録しております。3月末までのデータと合わせて最終的な取りまとめを行います。 以上、報告いたします。 続きまして、令和6年度予算執行状況についてご説明いたします。 (歳入) <table> <tr> <td>委託料</td><td>4,473,000 円</td></tr> </table> (内訳) <table> <tr> <td>富津市</td><td>2,460,000 円</td></tr> <tr> <td>君津市</td><td>2,013,000 円</td></tr> <tr> <td>計</td><td>4,473,000 円</td></tr> </table> (歳出) 報償費 <table> <tr> <td>謝金</td><td>12,000 円</td></tr> </table> 賃金 <table> <tr> <td>調査員</td><td>1,908,000 円</td></tr> </table> 旅費 <table> <tr> <td>旅費</td><td>303,454 円</td></tr> </table> 需用費 <table> <tr> <td>消耗品費</td><td>1,882,697 円</td></tr> <tr> <td>(電気柵改修</td><td>840,000 円)</td></tr> <tr> <td>(電気柵維持管理</td><td>236,704 円)</td></tr> <tr> <td>(調査用品</td><td>750,693 円)</td></tr> <tr> <td>(文具他</td><td>55,300 円)</td></tr> </table> 役務費 <table> <tr> <td>損害保険</td><td>7,442 円</td></tr> <tr> <td>通信連絡</td><td>45,660 円</td></tr> <tr> <td>計</td><td>4,159,253 円</td></tr> <tr> <td>残額</td><td>313,747 円</td></tr> </table> 以上、報告いたします。	委託料	4,473,000 円	富津市	2,460,000 円	君津市	2,013,000 円	計	4,473,000 円	謝金	12,000 円	調査員	1,908,000 円	旅費	303,454 円	消耗品費	1,882,697 円	(電気柵改修	840,000 円)	(電気柵維持管理	236,704 円)	(調査用品	750,693 円)	(文具他	55,300 円)	損害保険	7,442 円	通信連絡	45,660 円	計	4,159,253 円	残額	313,747 円
委託料	4,473,000 円																																
富津市	2,460,000 円																																
君津市	2,013,000 円																																
計	4,473,000 円																																
謝金	12,000 円																																
調査員	1,908,000 円																																
旅費	303,454 円																																
消耗品費	1,882,697 円																																
(電気柵改修	840,000 円)																																
(電気柵維持管理	236,704 円)																																
(調査用品	750,693 円)																																
(文具他	55,300 円)																																
損害保険	7,442 円																																
通信連絡	45,660 円																																
計	4,159,253 円																																
残額	313,747 円																																

中山委員長	ありがとうございました。 調査団から補足等はございますか。
(調査団)	調査団からは特にありません。
中山委員長	事務局の説明が終わりました。ただいまの説明につきまして、何かご質問等ございますか。
池田委員	電気柵の改修距離が昨年度よりも短くなっております。未だに改修が求められる場所がありますので推進をお願いいたします。資材の高騰などがあると思いますが、電気柵の設置には効果が見られると思いますのでよろしくをお願いいたします。
嶋野委員	宇藤原区長の嶋野です。 今年度5月、富津市教育委員会に宇藤原地区の電気柵を視察していただきました。耐用年数が過ぎて故障している電気柵も多数あります。物価高騰もありますが、その点も加味した予算組みをお願いしたいと思っております。
池田委員	捕獲個体の安楽殺処分について、血液サンプルは採取していますか。
(調査団) 白鳥	基本的に採取しています。現状で活用方法等を決めているわけではありませんが、血液検査等が必要な場合に備えています。
中山委員長	他にいかがですか。 他にご質疑もないようですので、議題（１）令和6年度事業の経過報告及び予算執行状況について、ご承認いただける方の挙手をお願いいたします。
委員一同	（全員挙手）
中山委員長	ありがとうございます。挙手全員でございますので本件は承認されました。

(君津市) 當眞文化振興 担当主幹	続きまして、議題（２）令和７年度事業計画（案）及び予算（案）について、事務局の説明を求めます。 令和７年度事業計画（案）について説明いたします。 本事業は、事業主体を管理団体である富津市及び君津市とし、天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業調査団を委託先として実施します。 経費 4,473,000 円 内訳 富津市 2,460,000 円 君津市 2,013,000 円 期間 令和７年４月１日から令和８年３月３１日まで 事業内容は、 （１）被害防止 （２）生態調査と個体数管理 （３）天然記念物指定地域の生息環境調査 成果品は、報告書と精算書を年度末までに提出することとします。 事業内容の詳細について、令和６年度から変更した点についてご説明します。 （１）被害防止 これまで、「被害多発期の追い払いによる被害防止」を計画に入れていましたが、この度、計画書から削除しております。被害多発期という期間で行うことの難しさ、近年は特定の時期での群れとの遭遇の難しさ等があり、既設電気柵の巡回時に追い払いを行うことや地元住民にロケット花火を配付するなどの対応に切り替えることとしました。 （３）天然記念物指定地域の生息環境調査 令和６年度には「環境改変」を実施していましたが、隔年での実施となるため令和７年度には実施しません。 事業計画（案）については以上です。
(富津市) 牧野文化係長	続きまして、令和７年度事業予算（案）についてご説明いたします。

中山委員長	(歳入)		
	委託料	4,473,000 円	
	(内訳)		
	富津市	2,460,000 円	
	君津市	2,013,000 円	
	計	4,473,000 円	
	(歳出)		
	報 償 費	謝金	48,000 円
	賃 金	調査員費	1,345,000 円
		調査補助員	488,000 円
	旅 費	交通費	254,000 円
		費用弁償	6,840 円
	消耗品費	電気柵改修費	980,000 円
		電気柵維持管理	150,000 円
		電波発信器	
		・ LT-01	92,400 円
		・ GPS	374,000 円
		捕獲用餌代	44,000 円
		麻酔薬・投薬器等	50,600 円
		その他消耗品	67,420 円
	借 上 料	機器借上料	102,000 円
		箱わな借上料	140,800 円
		センサーカメラ借上料	198,760 円
		電波受信機借上料	26,400 円
		PC 使用料	9,900 円
	役 務 費	損害保険料	8,000 円
		郵便代等	10,920 円
		GPS システム利用及び通信料	66,000 円
		PC ソフト使用料	9,960 円
	計		4,473,000 円
	ありがとうございました。		
	調査団から補足等はございますか。		

(調査団)	調査団からは特にありません。
中山委員長	事務局の説明が終わりました。ただいまの説明につきまして、何かご質問等ございますか。
清田委員	予算書の内訳を従来から細かくされていますが、購入する品目に変更等がありますか。借上料の項目が追加されていますが、これまで購入していたものをリースで代用できるようになったなど。
(富津市) 牧野文化係長	購入品目に変更はなく、これまで需用費でまとめていたものを細分化しております。
嶋野委員	令和7年度の予算については承知したいところですが、宇藤原地区にはまだ壊れたままの電気柵も多いですので、令和8年度に向けて、物価高騰も考慮した上で電気柵設置・改修のための予算確保に努めていただきたいと意見させていただきます。
中山委員長	他にいかがですか。 他にご質疑もないようですので、議題(2) 令和7年度計画(案)及び予算(案)について、ご承認いただける方の挙手をお願いいたします。
委員一同	(全員挙手)
中山委員長	ありがとうございます。挙手全員でございますので本件は承認されました。 続きまして、次第の4 その他 委員の皆様、何かございましたらお願いいたします。 事務局、何かございますか。
(富津市) 金木主任主事	本日、公務により欠席されていますオブザーバーのうち、千葉県環境生活部自然保護課様の本田様から申し送りをいただいておりますので、私から報告いたします。

	1 令和6年度ニホンザル生息状況調査について 令和6年度の調査では、令和8年度の計画改定に向けた群れ一斉把握調査のためのサル出没カレンダー調査や交雑広域モニタリングのための写真やデータ等の提供など、サル生息域の市町の方々にご協力いただいたところであり、この場をお借りして感謝申し上げます。 詳細な調査結果等については、精査を行っているところであるため、例年同様、来年度の会議等で説明していければと思いますが、サルの生息域の拡大が見受けられ、アカゲザルの生息域に近づいている状況が確認されており、今後もより一層の対策が必要と思っておりますので、引き続きサル対策の推進に御協力をお願いできればと思います。 2 令和7年度ニホンザル生息状況調査の予定について 令和7年度の調査では、今年度に引き続き、群れ一斉把握調査のためのサル出没カレンダー調査を、令和6年度未実施の君津市、富津市、鴨川市、鋸南町、南房総市の地域で実施予定です。また、例年行っている交雑個体除去目的の捕獲、群れ追跡調査、交雑広域モニタリングなどの調査も継続して実施する予定であるため、引き続き県調査への御理解と御協力をお願いできればと思います。 また、アカゲザル生息域に近づいていることが確認された南房総市の群れの交雑対策として、令和6年度末に新たに設置した大型檻を使用し、捕獲も実施予定です。こちらの経過についても次年度の会議の場などで示していければと思います。 以上、報告いたします。
中山委員長	以上で、本日予定しておりました議題が終了いたしました。 議長の職を解かさせていただきます。 ご協力ありがとうございました。
篠田課長	以上をもちまして、令和6年度第2回天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理委員会会議を閉会いたします。 貴重なご意見、ご審議、ありがとうございました。